

平成15年度第4回幹事会報告

平成16年1月22日
於：住友病院

[出席者]

事務局長（小田中徹也）、幹事（山室真知子、山崎捷子、松本純子、林 伴子、神田智香子、増田 徹、安東正子、井澤智子）

[報告事項]

事務局（総務・会計）：(1) 会長への年間活動中間報告（04/01/20 京都南病院）。平成15年度の事業活動について会長に事務局長が概略を報告、また、年度末の行事日程を調整した。(2) 第85回近畿地区医学図書館協議会例会（04/01/19 奈良県立医大）へは日程の調整がつかず、今回、病図協からは欠席した。(3) 会計中間報告。この中で、会員管理・会計事務の一部を外注委託する場合の業務内容と経費見積もりが報告され、来年度からの導入と予算案化が了承された。(4) その他、(1) の「年間活動中間報告」内容を報告し、役員会・総会に向け、準備することになった。

研修部：2003年度近畿地区医学図書館協議会シンポジウム（03/12/03 関西医大）は、例年どおり病図協も共催で協力し、会員からの参加者は14名あった。なお、開催に伴う経費は、今後要請があれば共催団体で均等負担する形で協力することにした。

第103回研修会（04/02/05 デジタルハリウッド大阪校）、見学会（04/02/25 国立国会図書館関西館）、事例報告会（04/03/26 コーブイン京都）の準備状況について報告があった。

会誌編集部：23巻3号の落丁は印刷会社の作業工程でのトラブルが原因であったが、折を見て

編集関係者が工場を訪問することにした。24巻1号の編集経過、4号で特集記事を組むかどうかの企画などが報告・検討された。また、寺澤裕子（関西労災）、井上智奈美（三菱京都）の両氏が新たに編集部に加わった。

会誌の表紙デザインを変更するかどうかについて、編集部では当面変更しないことにしたが、幹事会の意向も求められた。その結果、誌名を「病院図書館」に変更し同時に表紙も現在のものになって未だ3年目でもあり、当面は変更の必要なしとなった。

統計調査部：今年度内に簡易版の年次統計調査報告書を会員へ配布するため、現在作業中との報告があった。

目録編集部：外注先のデータ入力作業が大幅に遅れたこと、東海地区データとの照合に作業時間を要することなどから、全体の編集進行が遅れているとの報告があった。今後の編集作業では、従来とは異なり和文編と欧文編に分けて作業を進めることにした。また、和文編の書誌データ校正は、医学中央雑誌収載誌目録を参照する範囲に止めることにした。

[協議・決定事項]

(1) 役員会の日程：平成16年2月19日（木）14：00－16：00 於：京都南病院

(2) 総会の日程：平成16年3月26日（金）13：00－16：00 於：コーブイン京都

(3) 総会講演の講師：事務局で講師選定、交渉する。

(4) 来年度の会長：清水現会長が次期会長候補として内諾された。

(5) 来年度の事務局長：小田中現事務局長は1983年4月以来、過去20年間事務局長を務めてきたことなどから、今年度をもって退任することになった。